

日本音楽教育メディア学会
(JAPANESE MEDIA SOCIETY FOR MUSICAL EDUCATION)
JMSME News Letter

2019.7 vol.09

発行：令和元年7月15日
日本音楽教育メディア学会事務局
〒125-0062 葛飾区青戸5-5-16 (林方)
komadamayumi@gmail.com

(HP) <http://jmsme.jp/>

童謡作詞作曲コンクールについて

昨年秋、私の関係する団体で表記のコンクールを開催し、今春には入賞作品集の出版と入賞作品のコンサートを千葉県松戸市で開いた。初めての公募であったが全国から多くの応募があり、その内容は非常にレベルの高いものであった。このコンクールに寄せる人々の関心の高さとともに、新しい童謡の生誕が希求されていることを感じたものである。

童謡(わらべ歌、子守歌を含む)は音楽教育のみならず、子どもの成長発達においても豊かな感性や創造性を育む大いなる要素であり、人格形成において重要な役割を担っている。それ故、昔人の遺した文化の上に、さらに新しい音楽文化の構築(新しい童謡を生み出すこと)を志向することも大切であるだろう。

今回のコンクール開催はそのような意味を内包している。コンクール開催においては種々の問題を抱えているが、今後も継続的な活動を目指していきたいと考える。なお今回のコンクール開催の折、個人的ではあるが複数の学会員の協力を得たことをここに記しておきたい。ところでコンクールの副賞に入賞作品集(童謡集)がある。希望者には廉価(1000)にてお分けする。

連絡は yanak_ayu@yahoo.co.jp まで。

(記・谷中優)



日本音楽教育メディア学会 第10回研究会のお知らせ

日時 令和元年8月4日(日) 13:00~16:30(予定)

会場 葛飾シンフォニーヒルズ 別館2階ビジュアルルーム(京成線 青砥駅下車 徒歩8分)

研究会(口頭発表) (発表20分 質疑応答10分) *非会員のご参加は1000円を頂きます。

① 「保育園での延長保育における自発的な歌に関する研究-遊びと人との関わりを通して-」

山口 恵美子(東京福祉大学短期大学部)

② 「羽根つき歌に関する研究」

飯泉祐美子(帝京科学大学)

③ 「教材開発と表現についての実践的考察-創作と演奏の立場から-」

谷中優(スタジオM音楽研究所) 鈴木由美子(千葉敬愛短期大学)

~休憩~

④ 「児童が意欲的に取り組める器楽合奏の実践的研究」 飯泉正人(牛久市立向台小学校)

⑤ 「視覚化された音の可能性-学生グループによる身体表現の様相から-」 吉村治広(福井大学)

⑥ 「サイレンの語るもの-ミュージックサイレンの歴史と現状-」

兼古勝史(共栄大学) 小林田鶴子(神戸女子大学)

~COLUMN~

「24の調性」

それぞれの調性には、それぞれの色や性格があると言われる。果たしてそれは本当だろうか。そもそも調性とは何なのだろうか。

今回より、この場を借りて、心の思うままに、私の調性に対する思いを綴っていきたい。

人それぞれの感性によっても異なることではあるが、調には24の個性があり、その違いには、ある程度の傾向があるように思う。同じ曲でも違う調にして弾いてみたとき、何かちょっと違って感じた経験は誰にでもあるのではないだろうか。(もちろん、私はここでピアノという楽器、ピアノ曲というジャンルにだけ限って話を進めている。)

現代では「平均律」と呼ばれる、「どの調性でも同じように演奏できる調律」で演奏されているはずであり、ハ長調でも、嬰ハ長調でも、ニ長調でも、音階が平行移動しているだけで、理論上、楽曲に差はないはずである。しかし、実際には、その響きから受ける印象には大きな違いがある。

その理由は、平均律とはいっても実際には微々たる誤差があり、人間の耳がそれを調整して音楽を聴いているからである。先日、シューベルトのピアノソナタ D.960 B-dur を演奏する機会があった。シューベルトの作品といえば、突然の転調に表現の豊富なヴァリエーションを求められることで有名。これを紐解くには、各々の調性の色彩を理解していることが絶対に必要であり、それによって演奏を楽にしてくれている。

次回から、これらについて言及している Koelnklavier „Tonartencharakteristik” を参照しながら、調性と色彩の妙について探っていきたい。

武蔵野音楽大学 森永美穂子

連載「こどものうた」

「子守歌」—中国地方の子守唄—

ねんねこ しやしやりませ 寝た子の かわいさ
起きて 泣く子の ねんころろ つらにくさ
ねんころろん ねんころろん
ねんねこ しやしやりませ きょうは 二十五日さ
あすは この子の ねんころろ 宮詣り
ねんころろん ねんころろん
宮へ 詣った時 なんと 言うて 拝むさ
一生 この子の ねんころろん まめなように
ねんころろん ねんころろん

どうぞお眠り下さいね 眠ったお顔のとても愛しいこと
でも起きたときはなんと大変なこと
さあどうぞゆっくりお眠り下さい。
どうぞお眠りくださいね きょうは 25日
いよいよ明日はお宮参りですね
そのためにもどうぞゆっくりお眠り下さい。
お宮参り行ったら どんなことをお願いしましょう
それは一生この子が元気でありますように
どうぞゆっくりお眠り下さいね。

これまでご紹介した二曲の子守歌同様、この歌も子守娘が、自分の奉公している家の子どものことを歌った子守歌です。諸説ありますが、その子どもを大変いとおしくかわいがっている様子を伺い知ることができ、優しさが伝わってきます。

「ねんころろん」もとても優しい響きのする言葉ですね。優しい言葉がけで育った子は優しさの溢れる人に育つでしょう。追跡してみたくありません。

帝京科学大学教育人間科学部 飯泉祐美子

♪ 学会トピックス

● 日本音楽教育メディア学会第6回総会のご案内

令和元年8月4日(日) 10:30~11:30 葛飾シンフォニーヒルズ別館2階ビジュアルルームにて開催致します。ご出欠のお返事を7月末日までに事務局までお願い致します。

● 口頭発表される方は、要旨を7月末日までに事務局にご提出ください。

● 「音楽メディア研究第6巻」の発行は令和2年3月になります。投稿の申し込み締め切りは、8月末日になります。よろしくお願いたします。

《会員メッセージ》

「幼稚園でのプログラミングセミナー」

小林田鶴子（神戸女子大学）

来年度から小学校でのプログラミング教育開始、という矢先、葛飾区の共栄幼稚園では既に「キッズプログラミングロボット教室」を開催している。共栄大学客員教授である海老原武先生の指導で、課外教室として毎週金曜日に、園児たちは文科省開発の「プログラミン」やイギリス BBC 開発の「microbit」を使って、オルガン演奏プログラムを作ったりしている。

私は初回（「プログラミン」でのお絵かきなど）と3回目を見学したが、3回目は microbit でジャンケンプログラムを作り、基盤を振ることによって LED ライトで表示されるグー、チョキ、パーの形で勝ち負けを競っていた。やっていること自体は、普通のジャンケンと変わらないが、子どもたちは大盛り上がり、最後には集団ジャンケンとなった。

何故ここまで盛り上がったのか。目新しさというのものもあるかもしれないが翌日のオルフセミナーで聞いた「マレットを持つと、手で叩くのとまた違った工夫が生まれる」という言葉を思い出し、道具が人間にもたらす新たな創造の可能性を垣間見たような気がした。

また、自分で作ったプログラムという愛着もあるのであろう。幼稚園でのプログラミング教育、この先園児がどういう風に創造性を発揮するか、見ていきたい。



小林の「生」ジャンケンに microbit でジャンケンする園児(手前)

《会員メッセージ》

ピアノとの引っ越し

鎌田千佳（千葉敬愛短期大学）

この春、同じ市内で引っ越しをしました。これまで夫の転勤に伴い、何度も引っ越しをしてきました。異動する度に自分達で住宅探しをしなければならなかったため、住宅探しの担当？となった私は、新聞の不動産情報の見方を覚え、さらに内見前に間取り図を取り寄せ、どんな物件かを判断できるようにまできました。内見しても「ピアノ」という“お荷物”があるため、他の駐在員の方々のように住宅はすぐには決まらず、ベルリンでは長くホテル住まいをしました。

音楽の好きなドイツ人ですが、音楽を「聴く」ことと、実際に楽器の音が生活の中で「聞こえる」ことは違うらしく、「うるさいのは嫌だ」と、なんとも勝手？なことを言われたベルリン。実際、私のドイツ人の知人は「犬と楽器のない人にしか家は貸さない」とも言っていました。

その後、覚悟をして「ピアノ」との引っ越しに臨んでいきましたが、その後はそれほどでもなく、もっと聴きたいから窓を開けて弾いてくれ。と言われたルーマニアや、ハンブルクではご近所に恵まれ、少しさぼっていると「音が聞こえないから日本に帰国していると思っていたわ」と隣人のご婦人に言われたりと、ピアノと共に引っ越しも、苦労ばかりの思い出ではありません。

さて、帰国後、今回の日本で初めての引っ越しは・・・防音より「重量」を理由に断られる件数が多いことに驚いてしまいました。確かにヨーロッパの住宅と日本の住宅は構造がそもそも違うからなのでしょうけれども、これまで当たり前のようにピアノを置いて、そして弾いていた頃を思うと、改めて家族に感謝した春でした。

会員掲示板

手作り楽器で音遊びしよう!!

2019年8月20日(火)
9:30~12:30

松戸市民会館303音楽室

対象:5歳くらい~小学6年生くらい

主催:音・音楽フォーラム松戸

連絡先:oto.ongaku.forum@gmail.com
(鎌田)



総の国 童謡作詞・作曲コンクール

部門:学生(中・高校生)部門、一般部門の二部門

募集期間:2019年10月1日~11月30日(当日消印有効)

応募作品郵送先:

〒285-0807 佐倉山王郵便局留め

音・音楽フォーラム松戸コンクール実行委員会

鎌田宛

問い合わせ: oto.ongaku.forum@gmail.com

(鎌田)

会費納入のお願い

来年度(2019年8月1日~2020年7月31日)の年会費7,000円の納入を、12月末までに下記のいずれかの振込先をお願いいたします。

《振込先①》 ゆうちょ銀行 10510-91267401
ニホンオンガクキョウイクメディアガッカイ

《振込先②》 みずほ銀行 亀有支店(店番178)
(普)1293675 日本音楽教育メディア学会会長 谷中優

※入会・退会に際しまして、又、会費についてご質問等ございましたら事務局までご相談ください。

事務局だより

- 連絡先、勤務先等の変更があった場合は事務局へご連絡をいただけますようお願い致します。
- 総会、研究会のご出欠のお返事は7月31日までに頂きたい、どうぞよろしくお願い致します。
- 新元号「令和」を迎えて初めての今回の研究会は、お陰様を持ちまして第10回目の記念すべき日となりましたこと、感謝申し上げます。来年は役員改選もごぞいます。皆様、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(事務局:飯泉祐美子、鎌田千佳、林麻由美)